

## 留学だより(アメリカ合衆国ミシガン州) Vol. 1

ようやく留学が始まりました！ 今まで私たちの学校生活のほとんどはコロナで制限されていたためこのように海外に行けるというのは本当に嬉しいことです。たくさんの人に応援していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます！

私がいるところはアメリカ合衆国ミシガン州の Lake Orion というところです。イメージとしてはアメリカ北東部のカナダとの国境近く、五大湖の近くにあるという感じです。名前の通りたくさんの湖がある地域で、緑の多い自然豊かなところです。少し走っただけでも大きな湖を見つかることができ、リス、ウサギ、スカンクにも会いました。蒸し暑い日本とは違ってすごく過ごしやすく、大体 25 度前後で湿度は 50%を切るくらいの爽やかな天候です。少し走って汗ばむくらいでとても快適、素敵な気候です。

### 出発

この日に次世代の約 40 人で成田空港から Chicago Ohio 空港に向かいました。みんな緊張しているというよりもこれから 10ヶ月日本を離れるということが信じられないという様子で、不安というよりも困惑という言葉が正しいですね、たぶん。実はこれが初めての海外で、今まで飛行機は沖縄とか北海道までしか乗ったことがなかったので結構ワクワクしていたのですが、ロングフライトはかなりきつかったです。寝心地が最悪で全く寝られなかったのに、夜中にお湯をかけないで食べるタイプのチキンラーメンを食べ始めるなどの謎の行動を取りました。飛行機酔いがひどかったので着陸した時は本当にホッとしました。その後、空港に着いたのですが、本当に誰もマスクをしていないという違和感を強く感じました。海外ではこれが割と普通なことだそうで、風邪と同じように COVID を扱っているのだそうです。実際、マスクを外すと他の人の笑顔が見えるし、不快感とかもないのですごく快適でした。日本も早くそのような日が来るといいなと思います。

### 臨時ホストファミリー

正規のホストファミリーの方は娘さんの大学進学のためワシントンに行っていたため、三日間だけ臨時のホストファミリーの元で過ごすことになりました。優しいお母さんと、面白くて趣味を楽しんでいるお父さん、そして楽しい娘さん 2 人とすごく楽しい時間を過ごしました。ホストシスターたちとは結構、年が離れていたのですが一緒にトランポリンで遊んだり、スマホでゲームをしたりダンスをしたりなどして、とても良い時間を過ごせました。

アメリカならではの、外で焼く豪快なステーキやマシュマロとチョコのサンドなどが食べられて幸せでした！ホストファザーはテストレーサーをしている方だったので地下の秘密基地にカーシュミレーターがあり、それで遊ばせてもらいました。臨時であったのにも関わらずとても親切にしてくださり、離れるのがとても寂しかったです。

## ホストファミリー

### 家族構成

ホストマザー: 社交的で元気な方で、スクラップブックというフォトアルバムを作るのが趣味。

ホストファザー: 人を笑わせるのが好き、車の修理を自分でやってしまう生粋のエンジニア。

ホストブラザー: ゲームと機械が好きでブラックジョークが得意な1才年上の高校生。発音直してくれたり、どうやってダラダラ過ごすかとかを教えてくれる優しくて、面白い人。

ネコ1匹, 犬2匹

娘さんがあと4人いるのですが、もう家を出ているため、ふだんは一緒に暮らしていません。

### 家

ホストマザーが綺麗好きなのですごく清潔で素敵な家です。2階にはテラスがあって天気の良い日にはそこでディナーを食べたりします。また庭がとても広く、ジップライン・トランポリン・バレーボールコートがあります。

### 食事

そこまで料理をする家ではないので、自分で冷蔵庫から材料を出してご飯を準備することが多いです。サラダやパン、お肉と常備してあるおかずを温めて食べています。調味料がたくさんあるのと野菜・果物が多いので比較的健康的な食事が摂れていると思います。ただ、アメリカのスイーツが大きく美味しすぎるのでちょっと食べ過ぎているかもしれません。



## 302 Robotics

### 概要

私は小石川の物理研究会でロボットづくりをしているので、アメリカでもそれに関連したことをしたいと思っていました。Robotics クラブに所属しているホストブラザーがそれに関心を持って私を選んでくれたらしく、ありがたいことに通っている Lake Orion High School の 302 Robotics チームに加わることになりました。これは思ったよりも大きい組織で、大体40名ほどが所属しており、メンターとしてGMなど大手自動車メーカーに通っている大人が5名ほど常駐してくださっています。アメリカを中心に毎年行われる FRC に向けてロボット制作をしており、去年は世界大会に出場したチームです。(これについてはまたいつか詳しく)

設備が本当に整っている素晴らしい環境です！！3Dプリンターが3台（そのうちのひとつはレーザー）、CNC、ウォーターカッター、各種金属とかポリカーボネート、導線など必要な材料が完璧に揃っています。これには理由があって、私がある町がデトロイトに近いからです。デトロイトはかつて自動車産業の中心として栄えていて今でも多くの関連産業や大手車メーカーの本社があります。よってそれらの会社がスポンサーとしてお金を出しており、ロボット製作が地域としてすごく盛んなのです！



### アウトリーチ活動

このチームはただロボット制作をするだけではなく社会貢献を多く行っており、とても素敵です。私はホストブラザーと中学生に向けてロボットのプログラミングを教えるキャンプ、そして地域のお祭りのブース出展を手伝いました。メンターの方と協力してロボットを動かしたり、子供と話したりします。ここで4、5人のRoboticsクラブのメンバーと出会うことができ、色々話すことができたのがすごく良かったです。ロボットという共通の趣味を持っているため、話しやすく、何よりとにかくみんなとても優しいしノリが良いです！まだ指で数えるほどしか活動には参加していないのですが、既にこの302 Roboticsが大好きです。

## 近況報告

このコーナーでは毎月、あったことをまとめてお伝えします。

### 嬉しかったこと

誕生日が8月だったのですが、ホストファミリーが日本料理屋に連れて行ってくれた上、特大チョコレートケーキとカードとたくさんのプレゼントを頂いたこと(Alexaとか名前入りの水筒)

### びっくりしたこと

スカンクがいること、浴槽がないこと、臨時ホストファミリーの家にテレビが20台あったこと

### 楽しかったこと

Roboticsのイベントのフラフープ大会。二日間あって私はどっちともファイナルに進んだのです

がチャンピオンにはなれませんでした。ただ皆が大声で応援してくれてめっちゃ楽しかった！  
(左からフラフープの写真、活動の様子、ボール投げロボットの実演の様子)



### 悲しかったこと

Robotics のイベントで6歳くらいの子に話しかけて、英語が通じず「何て言ってるかわかんない」  
って言われたこと。結構ショックでした。

### メンタル状況

正直言って言語の壁がすごく高いです。何を話しているかとかは理解できるのですが、大人数だ  
とついていくのとか発言するのがほぼ無理です。日本の友達の夢を見たり、一人になると悲しく  
なるのをホストファミリーとカウンセラーに相談したところ不意に泣いてしまいました。彼らは  
「まだあなた来たばかりだし、私たちはここに10年以上住んでる。もう少し楽になってみたら、  
わからないなら聞けばいいよ。」と言ってくれたため、これで吹っ切れました。言語は一朝一夕で  
伸びるものではないので、少しずつ慣れていくしかないです。スポーツや音楽など言葉が必要の  
ないものを通して色々な人と話して適応していこうと思います。あとはホストブラザーが英語学  
習にと勧めてくれたコメディドラマ Office を観たり、走ったりしてリフレッシュしています。

### 来月の目標

全部の授業で人に話しかける  
クロスカントリーを楽しく続ける  
朝、絶対二度寝しない